

# 一年学年だより

No. 10

1月号

平成30年1月9日発行

1年 8組 担任

1年 8組 副担任



あけましておめでとうございます。2018年がスタートしましたね。年末年始は、家族で充実した日々を過ごすことができましたか？そして、心身ともリフレッシュすることができましたか？

新年を迎え、初詣に行ったりお年玉をもらったりと、この時期ならではの楽しみがあります。その中でも、私が毎年一番楽しみにしているものが大学時代の部活動の同期たちからの年賀状です。卒業後、それぞれの場所でそれぞれの道に進み、今では会うことも連絡することも少なくなっています。年賀状のやり取りだけで一年が過ぎることもあります。しかし、私はその年賀状だけで、そこに記されている一言二言だけで、改めて新鮮な刺激をもらい「みんなに負けないように、置いて行かれないように。」と自分自身に喝を入れることができます。その1枚1枚を通して、大学時代の思い出が蘇り、今も頑張っている同期たちの姿を想像することができるからです。大学時代、ほぼ毎日を同期たちと過ごし、ひたすら練習をしていました。試合に負けて泣いていたときには「泣く程これまで練習してきたのか？もっと練習すれば？」と言われ、連れ立って観戦しようとしたときには「試合は結局一人で観るもの。誰かと観るものなの？」と突き放されました。ぎりぎりの展開の試合で最後のサーブを打つときには「絶対入れろ。入れなければ始まらない。」と背中を押されました。一つ一つが大切な思い出で、今の自分に大きく影響を与えていると思います。大学時代に出会った同期たちがいて、共に頑張っていた時間がある、今の自分につながっています。何かにくじけそうになったときには、その同期たちや過去の存在が「まだ諦めるな。」ともう一歩踏みとどまる礎になっています。何かに必死に打ち込むことは、馬鹿らしくかっこ悪いことでしょうか？私はそうは思いません。頑張った結果が望むように出なくても、その経験が自分の原点の一つになり、そのとき共に頑張る仲間は一生涯の目標になることでしょうか。

皆さんは、「今年こそは！」と心に決めたことがありますか？それに向かって、動き始められていますか？皆さんにとって、今年はとても大事な年になります。コース選択、科目選択と将来の目標に向かっての第一歩ともいえるべきスタートを切ることになります。自分の進むべき道を見定め、その道を一步一步確実に進めて行ってください。今年一年がよい年になるかどうかは自分次第です。この3学期は一年間の総決算の学期であり、2年の0（ゼロ）学期とも言われているように2年生になる準備の学期でもあります。今まで以上に心して取り組んでいきましょう。

(1年8組担任)



読売新聞社が調査した「読者が選ぶ2017年10大ニュース」によると、第1位は、「14歳の中学生でプロ入りした将棋の最年少棋士、藤井聡太四段が、2016年12月のデビュー以来公式戦29連勝の新記録を樹立しました。」でした。

連日大きなニュースとして取り上げられ、将棋を始める少年少女が増えるなど、将棋人気が高まりました。来年は、将棋部に部員が増えるのではないかと、囲碁・将棋部顧問としては期待しています。

さて、私は元々囲碁が専門で、この春に卒業した生徒を相手に対局していましたが、昨年の夏に引退した後は、囲碁を打つ生徒がいなくなりましたので、将棋を始めました。ですから将棋のキャリアは1年ちょっとです。毎日、将棋を指して、詰将棋を解くなど勉強していますが、なかなか強くなりません。一方で、部員は同じように勉強していても直ぐに定跡を覚えることができるので、うらやましく思います。

高校生のときは、いろいろなことを学習しなければなりません、頭をフルに使ってどんどん吸収しましょう。

(1年8組副担任)